



定時社員総会特別企画

「情報と機械；超スマート社会の実現に向けて」開催

2017年4月3日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

一般社団法人日本機械学会（会長：岸本喜久雄 東京工業大学 環境・社会理工学院長）は、超スマート社会における機械の姿を考えるために、IoT や自動運転等の最先端の技術開発に取り組んでいる産官学の開発リーダーの皆様による講演とパネルディスカッションを企画しました。

入場無料でどなたでもご参加いただけます。広報ご協力並びに当日取材をお願い申し上げます。

◇開催日時 2017年4月20日（木）12時45分～15時15分

入場無料

◇会場 明治記念館（東京都港区元赤坂2-2-23）

◇講演内容

①12:50～13:20 「スマートマニュファクチャリングの動向と社会へのインパクト」

情報技術の発展により、ものづくりも大きな変革の時を迎えている。過度に複雑化した技術はスマートに体系化され、人の役割も変化して高度化する。スマートマニュファクチャリングとして追求されている技術の動向を述べ、社会へのインパクトを考える。

東京大学 名誉教授 木村 文彦

②13:20～13:40 「工作機械のIoT化」

工作機械のIoT化のテーマは、Industry 4.0やIICで欧米が先行していた感があるが、日本でもRRIのプロジェクトが経産省主導で立ち上げられ、さらに「IoT・AI・ロボットを用いた設備投資」に対して中小企業・小規模事業者の設備投資の支援が発表され、工作機械ユーザーの関心も非常に高まっている。本講演では、IoTを用いて工作機械の性能を向上させる取り組みについて具体例を用いて紹介する。

DMG 森精機（株）専務執行役員 藤嶋 誠

③13:40～14:00 「コマツにおける生産のつながる化」

コマツは、建設機械において、KOMTRAX 導入以降、情報の有効活用に取り組んでいる。ものづくりにおいては、大型部品の多種少量、グローバル生産という状況の中で、IoT ツールを活用し、生産の見える化・部品の見える化・工程の見える化により、生産性の改善・品質のトレーサビリティ向上を目指している。見えることと実際の改善につながる GAP があり、その中でアプローチや、今後取り組むべき内容につき紹介する。

（株）小松製作所 執行役員 栗山 和也

④14:00～14:20 「自動運転によるモビリティ社会の変革」

センシングやAIの進展により、自動車の自動運転が現実的になってきた。IoT、ビッグデータの融合により、安全・安心や快適性の飛躍的向上、省エネルギー・低環境負荷と高齢社会のモビリティも解決したサステイナブルな交通システムの実現が期待される。社会受容性を考慮したエコシステムを含めた最近の動向と今後のモビリティ社会の変革について紹介する。

東京大学 教授 須田 義大

⑤14:25～14:35 「JR 東日本の技術革新ビジョン」

JR 東日本では、IoT やビッグデータ、AI 等の進展を見据え、時代を先取りした技術革新の実現に向け、「技術革新中長期ビジョン」を策定した。「モビリティ革命」の実現をめざし、「イノベーション・エコシステム」の構築をすすめる。

東日本旅客鉄道（株）執行役員 横山 淳

⑥14:35～14:45 「新産業構造ビジョンー第四次産業革命ー」

人工知能やIoTによるトータルの経済価値は、日本経済の4倍もの規模になると試算されている。日本のGDPは4.1兆ドルだが、例えばものづくり分野で3.9兆ドルの変化が起きる。日本の産業構造が変化する中で、日本が世界をリードしていくために、どのような方向に進まなければならないのか、経済産業省産業構造審議会のとりまとめた「新産業構造ビジョン中間整理」についてポイントを紹介する。

経済産業省 産業技術環境局 産業技術政策課長 渡邊 政嘉

⑦14:45～15:15 「パネルディスカッション」

パネリスト：上記講演者、モデレーター：佐々木 直哉（日本機械学会 庶務理事）

詳細は本会 Web 参照>>> <https://www.jsme.or.jp/event/sokai-sp2017/>

◆次期会長に大島 まり（東京大学）が内定

日本機械学会の2017年度（第95期）会長に、東京大学大学院情報学環／生産技術研究所教授の大島 まり（おおしま・まり）の就任が内定しました。4月20日の2016年度（第94期）定時社員総会後に就任いたします。



【新会長の略歴】

東京大学大学院修了、1992年に東京大学生産技術研究所勤務、2000年に東京大学生産技術研究所助教授、2005年に同大同研究所教授、2006年より東京大学大学院情報学環と生産技術研究所教授を兼務、現在に至る

専門分野：バイオ・マイクロ流体工学
日本機械学会フェロー

◆絵画・デザインコンテスト作品募集中

夢の機械，未来の機械を絵や図面に描いてみよう！

一般社団法人日本機械学会は、よりたくさんの子供たちに未来の機械を考え、夢を育む機会をもってもらうため、2011年度より絵画コンテストを開催しており、今回で7回目を迎えます。

さらに2014年度からは、高校生・高専学生・大学生（1～2年生）を対象としたデザインコンテストも同時開催しております。

表彰式は、絵画コンテストが7月下旬～8月上旬にかけて開催の「機械の日・機械週間」展示会（会場：国立科学博物館、東京都台東区上野公園）にて、デザインコンテストが8月7日（月）に開催の「機械の日・機械週間」記念行事（会場：東京大学）にて実施予定です。

会員・会員外を問わず、たくさんの方々からのご応募をお待ちしております。

■応募テーマ 「夢の機械、未来の機械」

■応募資格 絵画コンテスト：幼児～中学生

デザインコンテスト：高校生・高専学生・大学生（1～2年生）

■応募締切 2017年6月19日（月）必着

■作品送付先 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

一般社団法人日本機械学会 絵画・デザインコンテスト係 電話（03）5360-3503

詳細は「機械の日」Webサイト（<http://www.jsme.or.jp/kikainohi/>）をご覧ください。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
広報情報グループ 井上
電話（03）5360-3503／FAX（03）5360-3508
E-mail：inoue@jsme.or.jp